



ともに考え、ともに行動しよう！

JSCA は、業界の活性化のためともに活動する仲間を募集しています。



ご挨拶

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会長 岡本 實

米中の貿易摩擦が世界に大きな代償を拡げる中、昨今の業界を取り巻く環境は相変らず厳しいものがあります。慢性的な人手不足は深刻なものがあり、ここ数年各地区で開催しています経営者懇談会では如何にすれば指導者確保が出来るかが主議題になっています。少子高齢化の中、会員の集客合戦がますます激しくなっておりまいました。しかしながら、会員獲得のあまり、入会金の免除や会費の安売り合戦という目先の対策では、難局を乗りきるところか、自ら破滅の道をたどっているようにも思えます。

私共には何といたってもプールを持っているという大きな強みがあり、それを最大限に活用していくことで、まだまだ市場開拓の余地はあるものと考えます。今日の厳しい環境下においても、独自の創意工夫と努力によって元気に運営されている施設がたくさんあります。加盟クラブの皆さんが「共に学ぶ」の精神で、お互いに力を合わせ相協力していけば、このフィットネス市場の中で堂々と生き残っていくことができるでしょう。

そのためにも、協会のスケールメリットや加盟クラブとしての特権をフルに活用し、協会事業である各専門委員会の活動に、積極的に参加して頂くことを望みます。1事業体では限界のある活動が、集約し、力をあわせる事によってその視野が大きく広がります。

元号が令和となり気持ち新たに業界の更なる発展を心に期して、役員一同、各種事業を実施・推進してまいります。加盟クラブの皆様の益々のご発展を祈念しますとともに、未加盟クラブが私達の新たな仲間として、共に手を携え、一丸となって荒波を乗り越えていくことができますれば幸に存じます。

団 体 概 況

- 1) 名 称 一般社団法人 日本スイミングクラブ協会 (略称 JSCA)
- 2) 所 在 地 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町二丁目 20-7 水道橋西口会館5階
TEL: 03-3511-1552 FAX: 03-3511-1554
URL: <http://www.sc-net.or.jp> E-mail: jsca@sc-net.or.jp
- 3) 役 員 会 長: 岡本 寛、副会長: 藤木 孝夫・室岡 隆之、専務理事: 澁谷 俊一
理 事: 総数 24 名、監 事: 2 名
- 4) 設 立 創 立: 昭和 43 年 (1968) 2 月 4 日
社団法人化: 昭和 62 年 (1987) 4 月 27 日
一般社団法人移行: 平成 24 年 (2012) 3 月 30 日
- 5) 組 織 ①支 部: 北海道・東北・関東・信越・北陸・東海・近畿・中国・四国・九州
②正 会 員: 576 社 ③登録クラブ: 1,081 クラブ (2019/8/1)
④賛 助 会 員: 47 社
⑤専門委員会: 指導力向上委員会・事業企画委員会・安全水泳委員会・泳力認定委員会・健康スポーツ医科学委員会・障害者水泳委員会・経営委員会・総務委員会
- 6) 事業内容 ①水泳及びアクアフィットネス指導者の育成、並びに指導資格の認定及び指導者の登録
②水泳及びアクアフィットネス指導プログラムの研究及び開発
③スイミングクラブ、プール関連施設の管理・運営に関する技術の調査研究
④指導上の安全確保並びに施設・設備・用具の安全性に関する指導及び調査研究
⑤各種講習会・研修会・セミナーの開催
⑥記録会・競技会の開催
⑦水泳及びアクアフィットネスに関する刊行物の発行
⑧水泳愛好者の泳力認定事業
⑨ジュニア選手の強化並びに国際大会への派遣
⑩障害者水泳の普及並びに指導者講習会、記録会・競技会の開催
⑪その他、この法人の目的達成に必要な事業
- 7) 付与資格 ①公益財団法人日本スポーツ協会公認水泳教師、公認水泳上級教師
(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本水泳連盟と(一社)日本スイミングクラブ協会の 3 団体合同で付与する「プロ水泳指導者」としての資格です。また、各対象別講習会修了者に、それぞれの資格として幼児・学童・成人・ベビー・高齢者・妊婦水泳インストラクター資格を付与します。
②協会公認アクアフィットネスインストラクター、上級インストラクター
指導者が水の特性を利用して、幼児から高齢者まで幅広い対象者に水中運動を指導するための資格です。
③協会公認アクアダンスインストラクター
指導者が水の特性を利用して、水中で音楽を使ったアクアフィットネスを指導するための資格です。
④協会公認メディカルアクアフィットネスインストラクター
指導者が水の特性を利用して、各種リハビリや運動療法を安全且つ効率的に指導するために、メディカル的な領域を学習して取得する資格です。
⑤協会公認安全水泳法管理者、救急蘇生法適任者
プール内の事故に対応する当協会独自の安全水泳法の資格です。スイミング・スポーツクラブの水泳指導者、プール担当者にとって必携の資格です。
○「プール管理責任者」「プール衛生管理者」
厚生労働省の「遊泳用プールの衛生基準」及び文部科学省と国土交通省連名の「プールの安全標準指針」では、掲記管理者を置くことを求めています。安全水泳法管理者にはこの講習会の終了証も発行されます。

*お問い合わせ・お申し込みは TEL: 03-3511-1552

JSCA ではこんな事業を行っています！

- 8) 講習会等
- ①各種資格付与講習会及び更新講習会 随 時
 - ②「トップマネジメントセミナー」 11月
最新の経営情報と、経営者同士の情報交換の場を提供します。
 - ③「全国指導者研修会」 6月・10月
パビーン・マティから選手養成まで、プロ指導者として必要な幅広い研修を通じ、指導者のスキルアップを図ります。
 - ④「海外経営者セミナー」 10月
海外のスイミング・フィット施設を視察し、最新の世界の動向を入手します。
 - ⑤「障害者水泳指導者講習会」 随 時
障害者水泳普及活動事業の一環としての指導者養成講習会です。
- 9) 競技会他
- ①「JSCA ブロック対抗水泳競技大会」 10月
全国10ブロックの代表選手を加盟クラブから選抜し、毎年各支部持ち回りでチーム対抗戦を繰り広げます。また、この大会の出場者から12月の豪州遠征派遣選手を選考します。
 - ②「JSCA キーンズランド・チャンピオンシップ選手団派遣事業」 12月
オーストラリアのキーンズランド州で開催されるスイミング・チャンピオンシップに選抜選手を派遣します。希望者は選手・コーチともに一般参加も受け付けています。
 - ③「JSCA 新年フェスティバル水泳競技大会」(全国23会場) 1月
全国各支部で一斉にIリーグ大会を開催し、全国ランキングを競います。
 - ④「JSCA 全国マスターススイミングフェスティバル」 3月
全国10支部が持ち回りで開催する、仲間達の旅行を兼ねた、年に一度のマスターススイマーの祭典です。
 - ⑤「JSCA 全国通信記録会」 1~2月
加盟クラブ内で、クラブ会員を対象として個別に記録会を実施し、その結果を本部で集計してランキングを競う通信記録会です。
 - ⑥全国統一基準「泳力認定会」 随 時
加盟クラブ内で、クラブ会員を対象として全国統一基準で泳力認定会を行うことによって、会員の定着化と実施クラブの増収を図るものです。
 - ⑦「ゴールドマスターススイマー表彰」 年 間
加盟クラブ内で、クラブ会員を対象として1年間に泳いだ総計距離を本部で集計してランキングを競い、会員の定着化と実施クラブの増収を図るものです。
 - ⑧「ベストスイマー表彰」 6月
日本国内の著名人とあなたのクラブの会員を表彰します。
 - ⑨「JSCA 全国知的障害者水泳競技大会」 12月
障害者水泳普及活動事業として、知的障害者水泳の全国大会を開催します。上記、全国規模活動とは別に、各種講習会・競技会等が各支部において、独自の事業として活発に実施されております。
- 10) 支部活動
- 支部単位で、経営者や指導者の組織活動が活発に行われています。
- 11) その他
- ①スイミングクラブ(スポーツクラブ)保険制度
協会のスキルリットを生かした「施設賠償保険+傷害保険」です。保険料が割安で、スイミングクラブのニーズに合わせて様々な経営リスクを幅広くカバーします。
 - ②優秀指導者・優秀コーチ・功労者表彰制度
あなたのクラブのコーチ・スタッフを、クラブに代わって公益団体である当協会が表彰します。
 - ③事務局には全国の情報が集まります。
最新情報やクラブ運営に係わる諸情報、お問い合わせ・ご質問は、お気軽にご連絡ください。

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会（JSCA）付与資格一覧

[指導力向上委員会]

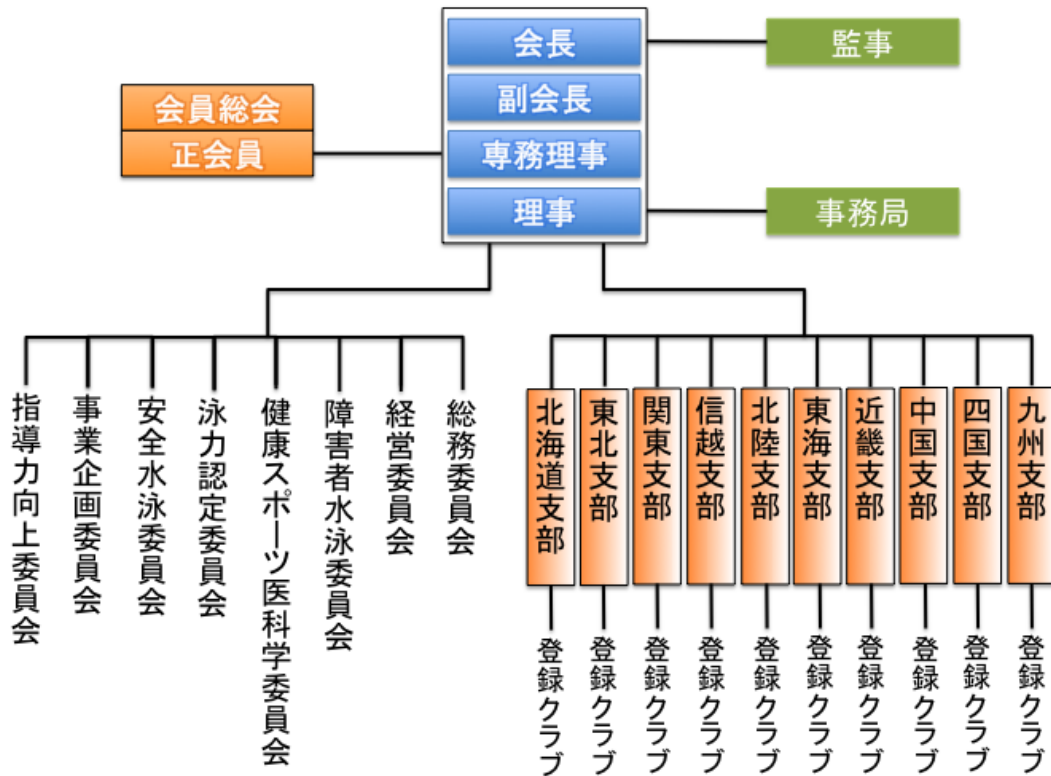
- 1) 公益財団法人日本スポーツ協会 公認（水泳教師）
 - ①水泳教師
 - ②水泳上級教師
(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本水泳連盟と(一社)日本スイミングクラブ協会の3団体合同で付与する「プロ水泳指導者」としての資格です。また、各対象別講習会修了者にそれぞれの資格として、幼児・学童・成人・競技・ベビー・高齢者・妊婦水泳インストラクター資格の発行も行います。
- 2) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 公認（アクアフィットネス）
 - ①アクアフィットネスインストラクター
 - ②アクアフィットネス上級インストラクター
指導者が水の特性を利用して、幼児から高齢者まで幅広い対象者に水中運動を指導するための資格です。
- 3) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 公認（アクアダンス）
 - ①アクアダンスインストラクター
指導者が水の特性を利用して、水中で音楽を使ったアクアフィットネスを指導するための資格です。
- 4) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 公認（メディカルアクア）
 - ①メディカルアクアフィットネスインストラクター
指導者が水の特性を利用して、各種リハビリや運動療法を安全且つ効率的に指導するために、メディカル的な領域を学習して取得する資格です。

[安全水泳委員会]

- 5) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 公認（安全水泳法）
 - ①救急蘇生法適任者（修了証発行：救護員・プール監視員）
 - ②安全水泳法管理者（修了証発行：プール管理責任者・プール衛生管理者）
プール内の事故に対応する当協会独自の安全水泳法の資格です。スイミング・スポーツクラブの水泳指導者、プール担当者にとって必携の資格です。
- 6) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 認定（ジュニア救急員）*
 - ①ジュニア救急員初級
 - ②ジュニア救急員中級
 - ③ジュニア救急員上級
小・中学校の子供たちを対象に、子供たちの発達段階に応じた救急法講習コースを設定し、事故防止と救急措置の基本的な知識や技術を習得させるための講習会です。
- 7) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会 認定（プール管理）*
 - ①プール管理責任者
 - ②プール衛生管理者
厚生労働省の「遊泳用プールの衛生基準」及び文部科学省と国土交通省連名の「プールの安全標準指針」では、掲記管理者を置くことを求めています。5-②安全水泳法管理者にはこの講習の修了証も発行されます。

*は資格取得講習会ではなく、修了証発行の講習会です。

組織図



※「正会員」とは、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の目的に賛同する「スイミングクラブを運営する個人または法人」をいう。

※「登録クラブ」とは、協会に登録した正会員の運営するスイミングクラブです。

賛助会員制度

当協会は我が国のスイミングクラブの運営の改善及びその指導者の資質の向上を計ることにより、スイミングクラブの健全な育成発達を促進し、以て国民の心身の健全な発達及び社会体育の振興に寄与することを目的として種々活動を行ってまいりました。

当協会では、より強力に事業を推進するため広く賛助会員を募り、次代を担う子供たちの心身の健全な育成と社会体育の振興に全力を傾注する所存でございます。スイミングクラブ関係者のみによる活動だけではなく、賛助会員の皆様のお力添えを得て、大きく推進していくことこそ、当協会の目的に繋がり、そして格段の成果が得られると考えます。当協会と賛助会員が一丸となって、社会的役割を全うすることを期待するところでございます。

入会ご希望者 各位

東京都千代田区神田三崎町2-20-7
水道橋西口会館5階
一般社団法人日本スイミングクラブ協会
会 長 岡 本 實

ご入会のご案内

謹啓 時下、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。また、平素はスイミングクラブ業界の発展のためにご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は本協会へのご入会のお問い合わせを頂きまして、誠にありがとうございます。早速必要書類一式をご送付させて頂きましたのでご査収ください。

ご承知の通り本協会は、我が国のスイミングクラブの運営の改善及びその指導者の技術の向上を図ることにより、スイミングクラブの健全な育成発達を促進し、もって国民の心身の健全な発達及び社会体育の振興に寄与することを目的として、昭和62年4月より文部科学省の認可団体として公益事業の実績を重ね、平成24年3月に一般社団法人への移行認可を受けました公益法人でございます。

本協会定款にご案内のとおり幅広い事業活動を行っておりますが、弊協会ではクラブ運営の基本は、施設の安全管理にあると考えております。安全で快適なクラブライフを提供するためには、指導者の資質向上のための教育は必須条件であります。

プロ指導者として欠かすことのできない安全水泳法講習会を筆頭として、各種指導者資格付与事業も実施しておりますので、ご入会後は本制度をご活用頂き、より多くの指導者に、プロ水泳指導者としての資格取得を推進して頂ければ幸いです。

これを機会に是非ともご入会を賜りますよう、ご案内申し上げます。

なお、入会申請書類は貴社所在地を管轄する支部がございますので管轄支部事務局宛ご提出願います。ご参考までに本部・支部事務局の住所一覧表を別紙事務書類として同封いたしました。

支部役員会を経て、理事会で承認されましたら改めて再度ご案内を申し上げます。

先ずは略儀ながら、書中にてご挨拶旁お知らせ申し上げます。

敬具

記

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会	入会金	100,000円
	正会員年会費	20,000円
	登録クラブ年会費	40,000円
	看板代(任意)	50,000円
	*新規入会は入会金に含む	
		以上

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会 「登録クラブ」登録条件

- I. 本協会の“正会員入会時のクラブ登録”及び“登録クラブの追加申請”については、本協会「入会規則」第2条（入会資格）(2)に基づき、本協会が認めた各種資格取得者が1名以上在籍していなければ、新規入会・クラブ登録をすることができません。

本協会が認める各種資格とは、次の団体が認定する以下の資格です。
ご提出頂く「指導者名簿」に以下の資格をご記入ください。

(1) 一般社団法人日本スイミングクラブ協会

- ①対象別（幼児・学童・成人・競技・ベビー・高齢者・妊婦）インストラクター、水泳インストラクター、水泳教員
- ②アクアフィットネスインストラクター・アクアフィットネス上級インストラクター
- ③アクアダンスインストラクター
- ④メディカルアクアフィットネスインストラクター
- ⑤救急蘇生法適任者・安全水泳法管理者

(2) 公益財団法人日本スポーツ協会

- ①公認水泳教師・公認水泳上級教師
- ②公認水泳コーチ3（旧水泳コーチ）・公認水泳上級コーチ4（旧水泳上級コーチ）
- ③公認水泳コーチ1（旧水泳指導員）・公認水泳コーチ2（旧水泳上級指導員）

(3) 公益財団法人日本水泳連盟

- ①基礎水泳指導員

(4) 日本赤十字社

- ①水上安全法救助員・水上安全法指導員

(5) 公益財団法人日本体育施設協会

- ①水泳指導管理士

(6) NPO 法人日本ライフセービング協会

- ①ライフセーバー（ウォーター・ベーシックサーフ・アドバンスサーフ）

- II. 本協会の“正会員入会時のクラブ登録”及び“登録クラブの追加申請”の際には、「プール管理責任者」と「プール衛生管理者」の選任及び届け出が義務付けられています。各種入会・登録書類とともに、別添「プール管理責任者・プール衛生管理者選任のご案内」に沿って選任申請書のご提出をお願いします。

記載例

正会員入会申込書

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会長 殿

貴協会の目的及び事業に賛同し、定款記載事項を承認のうえ所定の書面を添付して、正会員入会の申し込みをいたします。

令和 年 月 日

法人名 登記簿に記載の名称 印

住所 〒 登記簿に記載の住所

Tel 本社の電話番号

代表者氏名 登記簿に記載の代表者名

設立年月日 _____

登録するクラブ名 _____

(※正会員が登録クラブを追加する場合には本書の提出は不要です)

登録クラブ申請書

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会長 殿

正会員 法人名 が管理運営する下記クラブを所定の書面を添付して登録クラブとして申請いたします。

令和 年 月 日

登録クラブ名			
住所	〒 _____		
代表者名	<u>支配人等の責任者でも可</u>		印
設立年月日	年 月 日	Tel	

正会員 登記簿に記載の名称

住所 〒 登記簿に記載の住所

代表者氏名 登記簿に記載の代表者名 印

正会員入会申込書

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

会 長 岡 本 實 殿

貴協会の目的及び事業に賛同し、定款記載事項を承認のうえ所定の書面を添付して、正会員入会の申し込みをいたします。

令和 年 月 日

法 人 名 _____ 印

住 所 _____

TEL _____

代表者氏名 _____

設立年月日 _____

登録するクラブ名 _____

添付書類 1. 商業登記簿謄本 (2. 個人営業の場合は納税証明書)
(※正会員が登録クラブを追加する場合には本書の提出は不要です)

*協会使用欄	支 部 提 出 日	令和 年 月 日	支部承認印	
	本 部 提 出 日	令和 年 月 日	本部受付印	
	承 認 日	令和 年 月 日	本部承認印	
	承認連絡日	令和 年 月 日	担当社員	
	会費納入日	令和 年 月 日	担当社員	

*正会員NO	
--------	--

登録クラブ申請書

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

会長 岡本 實 殿

正会員 _____ が管理運営する下記クラブを
所定の書面を添付して登録クラブとして申請いたします。

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

登録クラブ名			
住 所	〒 _____		
代 表 者 名			印
設 立 年 月 日	年 月 日	TEL FAX	

正 会 員 _____

住 所 〒 _____

代表者氏名 _____ 印

添付書類：1. クラブの入会案内または規約、2. 指導者名簿、3. 会員の傾向
4. 施設概要、5. プール管理責任者・プール衛生管理責任者選任申請書

*協会使用欄	支 部 提 出 日	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	支 部 承 認 印	
	本 部 提 出 日	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	本 部 受 付 印	
	承 認 日	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	本 部 承 認 印	
	承 認 連 絡 日	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	担 当 社 員	
	会 費 納 入 日	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日	担 当 社 員	

*登録クラブ No. _____

会員の傾向

現在開催している教室（○で囲んでください）

A：アクアフィットネス（水中運動）、AD：アクアダンス（格闘技系含む）、B：ベビー、

D：ダイビング、DIV：飛込、H：肥満改善、J：循環器系改善、K：改善全般、

LC：幼児水泳、M：マタニティ、MS：マスターズ水泳（成人水泳）、PC：親子水泳、

R：流水、S：障害者（身体・知的区別なし）、S①：身体障害者、S②：知的障害者、

SC：学童水泳、SI：選手（育成）、SS：シンクロナイズド、T：トライアスロン、

TY：転倒予防、WP：水球、Y：腰痛・関節痛改善、Z：喘息児

* 「親子水泳」は「ベビースイミング」とは目的を異にしたプログラムで、保護者が同伴します。

* J・TY・Y 及びその他改善コースを複数行っている場合は J・TY・Y ではなく K をお選びください。

会員構成の傾向

全 体 男 女 比 （ 男 : 女 ）

構 成 比

乳 児（0才～3才未満） %

幼 児（3才～学齢まで） %

児 童 %

中 学・高 校 生 %

成 人 %

成人内訳（%）

18歳～ 30歳～ 40歳～ 50歳～ 60歳～ 70歳～
（ ） （ ） （ ） （ ） （ ） （ ）

施設概要書

登録クラブ 総面積					
メインプール		m×	m×	m (コース)	公認・非公認
サブプール		m×	m×	m (コース)	公認・非公認
ダイビングプール		m×	m×	m 形態 ()	
その他プール	①	m×	m×	m 形態 ()	
	②	m×	m×	m 形態 ()	
	③	m×	m×	m 形態 ()	
ロッカールーム		男子	名分・女子	名分・その他 ()	
アスレチックジム		面積		m ²	ランニングトラック 有・無
スタジオ		面積①		m ² ・②	m ² ・③ m ²
テニスコート		面 (インドア		面)・スカッシュ	面
お風呂		有・無 (槽)		ジャグジー	有・無 (槽)
サウナ室		有・無 (室)		ミストサウナ	有・無 (室)
スクールバス					
その他施設	①				
	②				
	③				

貴クラブの経営理念について

